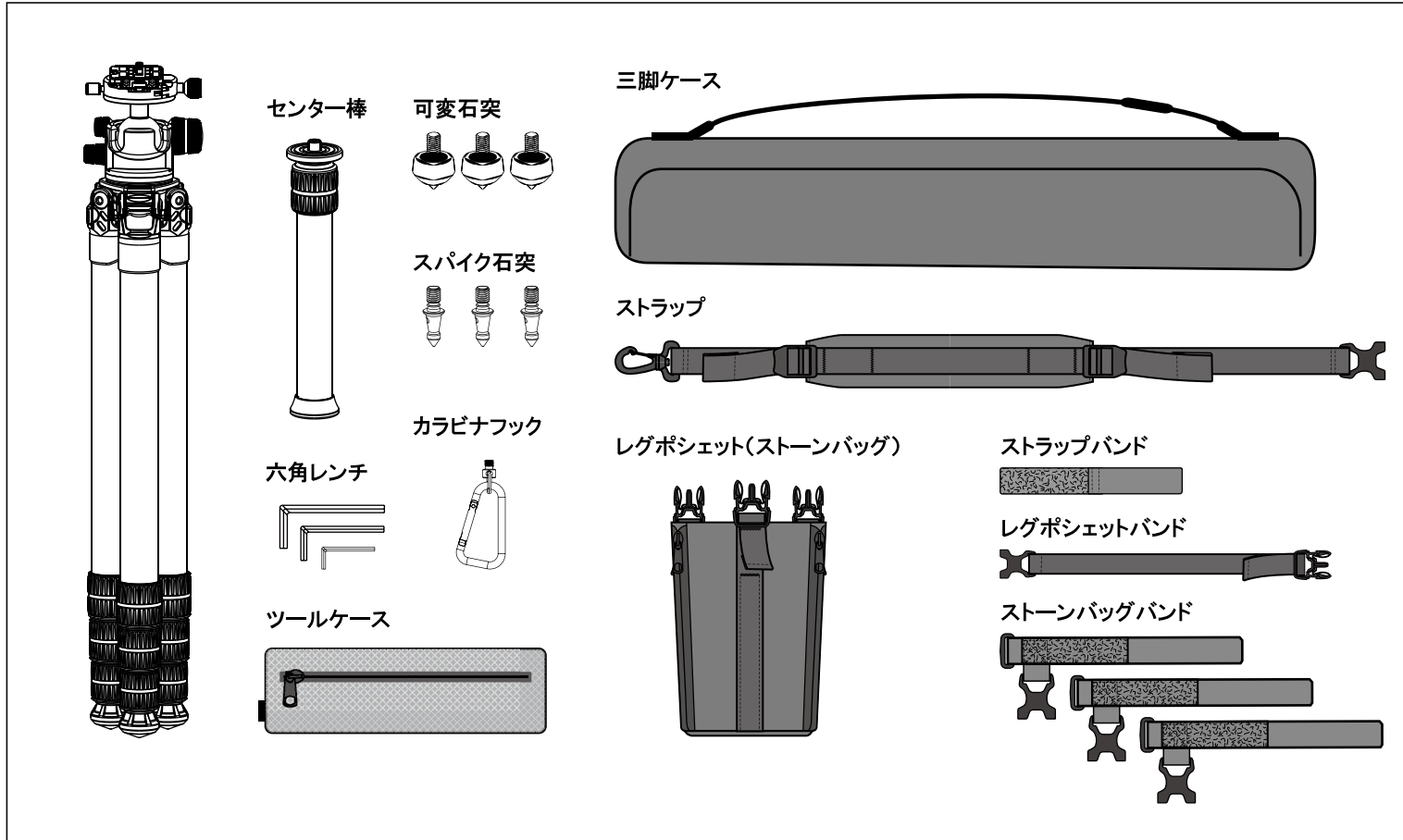
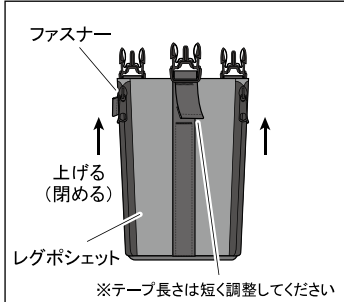


付属品

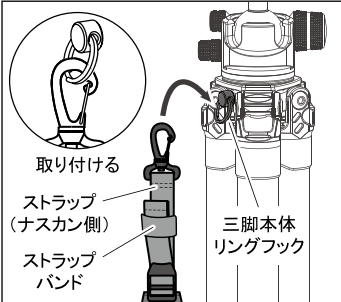


※製品改良のため、予告なしに仕様・デザイン・諸元等を変更することがありますのでご了承ください。

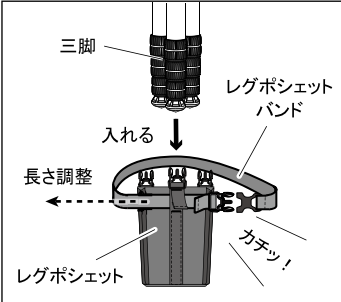
レグポシェット・ストラップの使い方



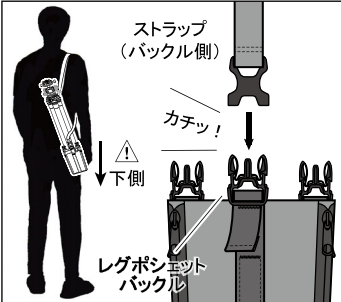
レグポシェットの3ヶ所のファスナーを上げて閉めた状態にします。
※テープ長さを調整してご使用ください



ストラップ(ナスカン側)を三脚本体のリングフックに取り付けます。
※外れないよう、しっかりと固定します

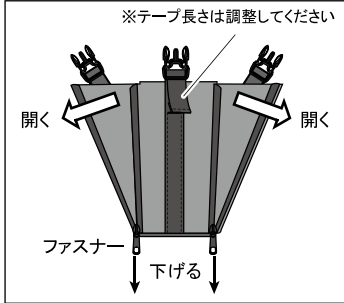


三脚の脚3本をまとめてレグポシェットに収納します。
レグポシェットバンドを締めつけて三脚の脚をしっかりと固定してください。

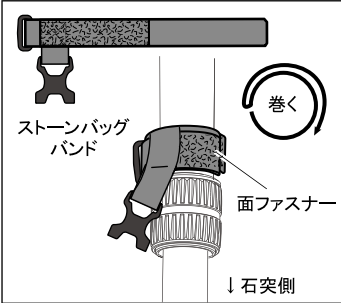


ストラップ(バックル側)をレグポシェットのバックルに取り付けます。
※外れないよう、しっかりと固定します
各部の長さを調整してご使用ください。
レグポシェットが下側になるようご使用ください。

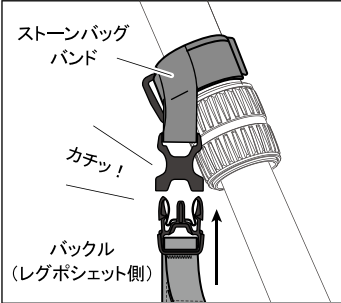
ストーンバッグの使い方



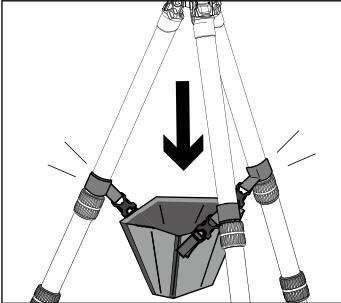
レグポシェットの3ヶ所のファスナーを下げて広げた状態にします。
※テープ長さを調整してご使用ください



ストーンバッグバンドを3本の脚それぞれに巻きつけ、面ファスナーで固定します。
※ズレないように、なるべく固めに巻いてください。



レグポシェットのバックルを3本の脚に巻いたストーンバッグバンドと固定します。
※外れないよう、しっかりと固定します。



ベルボン製品を正しく安全にお使いいただくために

安全上のご注意

必ずお守りください

製品を安全にお使い頂くために、ご使用前に必ず本紙をお読みいただき、内容をよくご理解のうえ、お読みになった後は大切に保管してください。本紙ではお客様や他の人々への危険・財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

- 警告** この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
- 注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性・又は物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。

- このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
- このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

お手入れ・アフターサービス

●ご使用後は湿った布で汚れを拭き取った後、乾いた布でよく拭いて保管してください。特に海岸や温泉地域等のご使用後は、そのままの状態では錆や故障の原因となりますのでお気を付けください。●雨などで三脚が濡れてしまった場合は、乾いたきれいな布で水分をよく拭き取り、脚部は全段を伸ばしてよく乾かしてください。脚パイプの奥まで濡れてしまった場合は、一度点検に出すことをお勧めします。お問い合わせ先(受注センター)までご連絡ください。●清掃の際は、シンナー等の薬品は使わないでください。●修理または部品を紛失した場合は、販売店か、下記のお問い合わせ先(受注センター)へ直接お問い合わせください。本製品の性能部品は、製造終了後5年を目安に保有しております(この期間後であっても修理可能な場合もございます)。●製品の保証について等、疑問に思うことがあれば下記のお問い合わせ先(受注センター)までお問い合わせください。

●『安全上のご注意』をお守りいただけなかった事により生じた損害や、目的外の使用により生じた損害について、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。●万一、当社製造上の原因による初期不良がありました場合は、同数の新品とお取替えいたします。当該商品が製造終了の場合は同等商品の新品とお取替えいたします。それ以上の責任は負いかねますのであらかじめご了承ください。●製品改良のため予告なく仕様、デザインなどを変更することがあります。

<保証規定> (For Japanese Market)

- 保証期間はご購入日から1年間といたします。
- 修理の際は必ず本保証書を添付のうえ、ご購入店または当社お問い合わせ先(受注センター)にお申し出ください。なお、ご購入店または当社お問い合わせ先(受注センター)にご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。
- 保証期間内に発生した自然故障または破損に関しては、無償修理いたします。
- 保証期間内でも、次のような場合には有償修理となります。
 - ①本保証書の提示が無い場合。
 - ②本保証書にお買上げ年月日及びご購入店名(印)が無い場合。
 - ③使用上の誤りや不適切な取り扱い(例えば落下)の場合。
 - ④不当な修理や改造による故障・損傷の場合。
 - ⑤火災・水害・地震その他の天災地変による故障及び損傷。
 - ⑥保管上もしくは手入れの不備等による故障及び損傷の場合。

警告

- 可変石突等のスパイクを備えた三脚や一脚を持ち運ぶ際は、安全のため必ずゴム石突に変換するか、ケースやレグポシェット等を使いスパイクがむき出しにならないよう気をつけてください。死亡や大ケガの原因となります。電車内等で周囲に人が多い場合は、いっそうの注意が必要です。
- 三脚には推奨積載質量が設定されています。必ずその範囲内のカメラを使用してください。特に、雲台がセットされた三脚自重の2倍を超えるカメラを使用すると、安定性が極端に悪くなりますのでご注意ください。三脚が転倒し死亡や大ケガにつながる恐れがあります。またカメラブレの原因にもなります。
- カメラを装着したまま脚の伸縮調整や雲台の操作をする際は、必ずカメラを手で支えながらおこなってください。三脚やカメラが不意に動きカメラを破損したり、指や手を三脚にはさまけガをする恐れがあります。カメラ形状によってはバランスが取りにくい事もありますので、十分気をつけてください。
- 三脚の設置・操作については十分に注意しておこなってください。あやまって指や手をはさむとケガにつながります。また、各ロック箇所やストッパーが緩んでいないか、再度確認してください。不意に三脚が転倒し、カメラが破損する恐れがあります。取扱説明書をよく読み、確かめながら操作してください。
- 三脚は撮影用の機材です。絶対に三脚の上に腰掛けたり乗ったりしないでください。転倒し、死亡や大ケガにつながります。また一脚を杖がわりにして歩行補助の器具にするような行為は、不意に脚が縮み転倒するなどして大変危険です。思わぬ事故につながりますので、絶対におやめください。※強度的にも大変危険です。
- 三脚や一脚は金属部品やカーボン繊維で構成されておりますので、通電します。高圧線等、電気が通っている物の近くでは使用を避けてください。また落雷の恐れがある場合は絶対に使用しないでください。そのような場所では撮影をやめ、すみやかに避難してください。
- 三脚にカメラを取り付けたまま放置してその場を離れることや、三脚を場所取りのために利用することはお避けください。他の人や車の通行の妨げになったり、ぶつかってケガをさせてしまったり、倒れてカメラが破損する恐れがあります。
- 三脚の設置・操作については十分に注意しておこなってください。あやまって指や手をはさんだり、三脚が倒れて死亡や大ケガにつながる恐れがあります。またベルトやストラップのある製品については、お子様の首に巻きついたりしないよう、しっかりと確実に管理してください。
- 三脚の使用時は、3本の脚を十分に開いてください。脚の開きが不十分だと、不意に三脚が倒れケガや破損の原因となります。また不安定な状態での使用は、カメラブレの原因にもなります。

注意

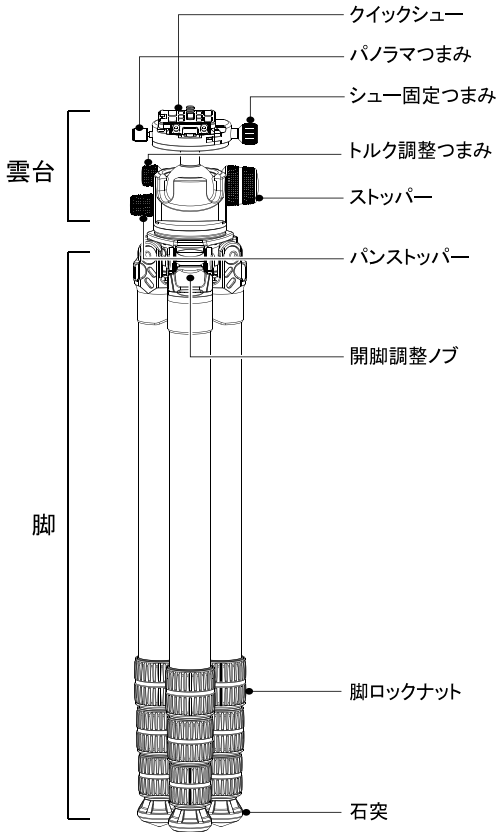
- 三脚や一脚にカメラを装着したままの移動はお避けください。予想以上の力が加わった場合、カメラが落下する恐れがあります。特に、カメラを装着したまま三脚や一脚を肩に担いで移動すると、カメラが境界に入らないので大変危険です。移動時は必ずカメラを外してください。
- 各部ストッパー・ネジやハンドル棒・固定レバー等は、必要なとき以外は確実に締めてご使用ください。ネジやレバーが緩んでいると、三脚の転倒やカメラ破損の原因となります。また、緩んだ状態で移動すると、ネジ等を落として紛失する可能性があります。
- 三脚や雲台各部へのオイル・グリス等の補給はしないでください。十分な性能が発揮されなくなる場合があります。可動部の動きが悪くなった場合は、当社お問い合わせ先(受注センター)までご連絡ください。
- 三脚や一脚を壁に立て掛けたり、脚を閉じた細身な状態で立ておくと、不意に倒れる恐れがあり危険です。できるだけ横にして(寝かせて)置いてください。
- 製品の水準器は、あくまで撮影の目安として装備されているものです。計測用途や業務用途での精密使用には適していませんのでご注意ください。
- 製品の分解・改造をしないでください。異常動作により、ケガや破損の原因となります。また分解・改造をした製品については、たとえご購入直後でも正規保証を受けられなくなりますので、その点もご注意ください。
- 製品の使用温度範囲は、0℃～40℃となっています。この範囲を超えると高温下ではオイル漏れをおこしたり、低温下ではパン・テイル動作が重くなったりして、十分な性能が発揮されない場合があります。高温多湿な場所や直射日光があたる場所、自動車内等には決して製品を放置しないでください。
- 冬場の撮影や寒冷地等のご使用においては、金属部分が凍結する恐れがありますので、素手では操作しないでください。「カメラマングローブ」等の撮影用手袋を用いることをお勧めします。
- 製品に水や砂が付いたまま使用を続けると、可動部から中に入り故障の原因となります。汚れてしまった場合は、きれいな布でよく拭き取って使用してください。脚パイプが濡れてしまった場合には、必ず拭いた後によく乾かしてください。
- 雲台の取り外しが可能な製品の場合雲台を交換することができません。雲台(三脚)の全てのストッパーやハンドル棒をしっかりと締め、雲台全体を反時計回りに回すを外れます。この時、雲台に顔を近づけているとハンドル棒などにぶつかり大変危険です。十分に注意して作業してください。
- 長期間使用しなかった場合や大切な撮影の前には、必ず事前に各部を点検してから使用してください。

発売元

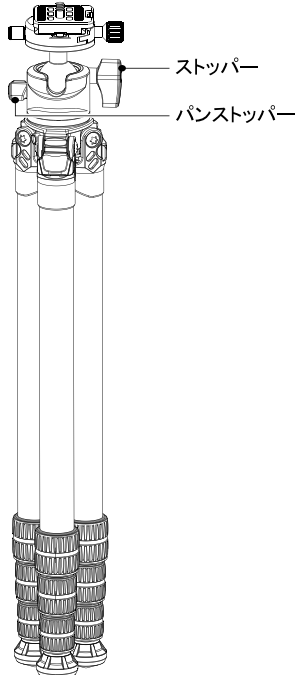
ハクバ写真産業株式会社 お問い合わせ先(受注センター) TEL: 0568(85)0898
本社: 〒130-0014 東京都墨田区電気1-3-7 受注センター: 〒486-0812 愛知県春日井市大泉寺町438-1
www.hakubaphoto.co.jp

各部の名称

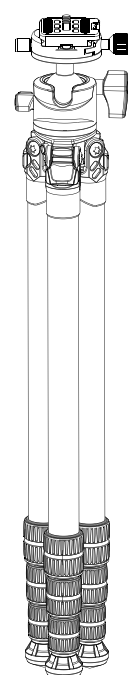
このたびはベルボン製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。



クイックシュー
パノラマつまみ
シュー固定つまみ
トルク調整つまみ
ストッパー
パンストッパー
開脚調整ノブ
脚ロックナット
石突



ストッパー
パンストッパー



Carmagne N743 MT

Carmagne N643 MT

Carmagne N543 MT

	Carmagne N743 MT Since 1955 Anniversary Special Edition	Carmagne N643 MT Since 1955 Anniversary Special Edition	Carmagne N543 MT Since 1955 Anniversary Special Edition
雲 台	QHD-V40	QHD-V30	QHD-V30
全 高(センター棒無し)	1410mm	1290mm	1310mm
最 低 高	201mm	179mm	190mm
縮 長	545mm	497mm	493mm
脚 径	32.5/29/25.5/22mm	29/25.5/22/18.5mm	25.5/22/18.5/15mm
段 数	4段	4段	4段
質 量	1830g	1360g	1210g
推奨積載質量	7kg	4kg	3kg
脚最大荷重	22kg	18kg	13kg
クイックシュー	QB-V40	QB-V30	QB-V30
付属センター棒仕様	伸長324mm、縮長202mm、重さ170g	伸長325mm、縮長202mm、重さ145g	伸長325mm、縮長200mm、重さ125g

※記載数値は平均的な値です。製品は組み合わせ部品で構成されておりますので、記載数値と若干異なる場合があります。
※製品改良のため、予告なしに仕様・デザイン・諸元等を変更することがありますのでご了承ください。

(修理・サポート)

ハクバ写真産業株式会社

お問い合わせ先
(受注センター) TEL：0568(85)0898

〒486-0812 愛知県春日井市大泉寺町438-1



左のQRコード、またはベルボン
サイトの「修理のお問い合わせ
フォーム」からご依頼ください。

www.velbon.com

保証書

商品名Carmagne N743 MT / N643 MT / N543 MT
Since 1955 Anniversary Special Edition

ご購入店名

お客様

お買い上げ
年月日西暦 年 月 日

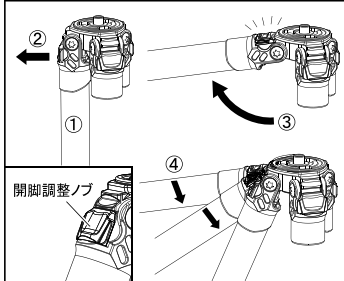
保証期間1年(お買い上げの日から)

住所

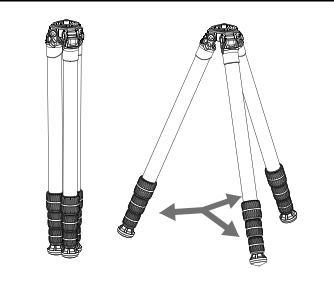
電話

印

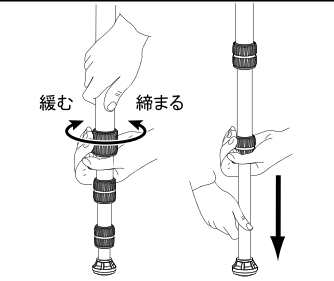
1.三脚の設置



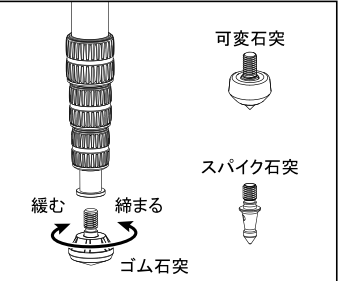
①脚を閉じた状態にして、②開脚調整ノブを最後まで引き出します。③脚をいっばいに開くとフル開脚(ローポジション)になります。④脚をゆっくり閉じていくと、開脚調整ノブの位置が自動的に変わり、ミドル開脚→通常開脚となります。なお、誤ってノブを引き出してしまった場合は押し込めば戻ります。



設置の際は、3本の脚を最後までしっかりと開いてください。

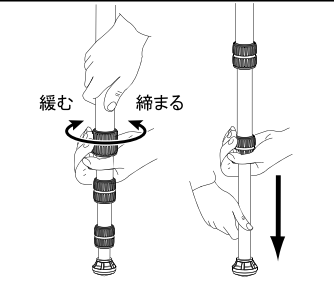


脚を伸ばす際は上の段から順に伸ばします。縮める際は下の段から順にしまってください。脚を全段引き伸ばさないで使用する場合は、できるだけ太い脚を使って撮影してください。



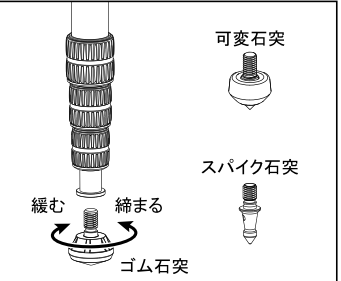
石突は撮影場所の状況に応じて、初期仕様のゴム石突から付属の変可石突・スパイク石突に交換することができます。

2.脚の伸縮・固定



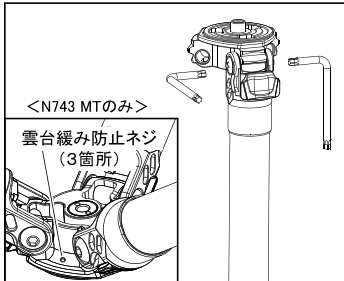
脚を伸ばす際は上の段から順に伸ばします。縮める際は下の段から順にしまってください。脚を全段引き伸ばさないで使用する場合は、できるだけ太い脚を使って撮影してください。

3.石突の交換



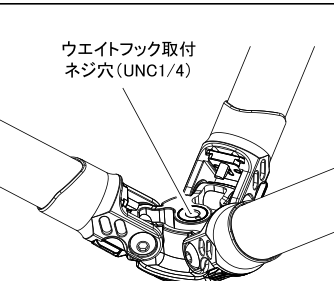
石突は撮影場所の状況に応じて、初期仕様のゴム石突から付属の変可石突・スパイク石突に交換することができます。

4.調整



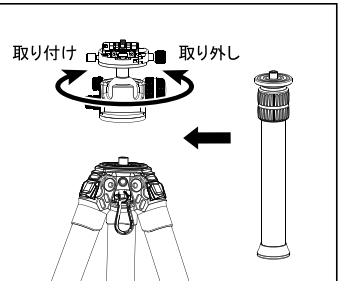
「開脚固さ」を調整する場合は、付属の六角レンチで脚軸のボルトを調整してください。またN743 MTのみ、雲台緩み防止ネジがあります。必要に応じてレンチで締めてください。
※ボルトの回しすぎにご注意ください。

5.ウエイトフック取付ネジ穴



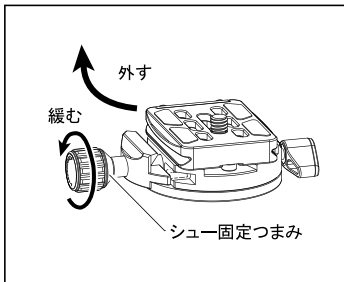
三脚本体部の裏側には、ウエイトフック(カラビナ)取付用のネジ穴があります。3本の脚をフル開脚状態にして、ウエイトフック(カラビナ)をねじ込んで取り付けてください。

6.センター棒の使用

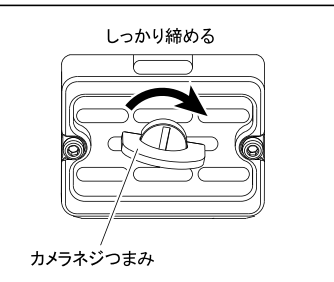


高さが足りない場合は、付属するセンター棒を接続することができます。雲台を外して、三脚本体と雲台の間に、センター棒を接続してください(センター棒は伸縮可能)。

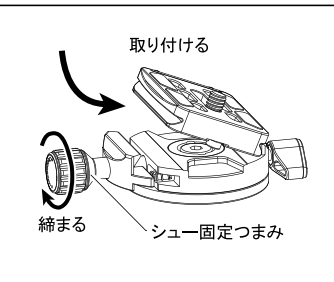
7.カメラの取り付け方(ベース部分抜粋)



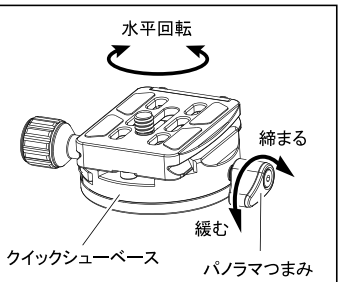
シュー固定つまみを緩む方向に回して十分に緩め、クイックシューを外します。



クイックシュー裏面のカメラネジつまみを起こして回し、しっかりとカメラに取り付けます。

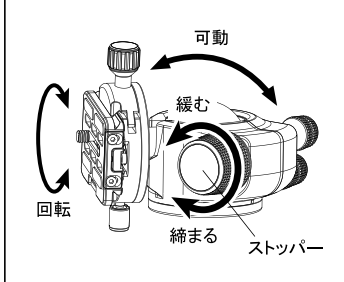


斜め上からクイックシューを取り付けたら、シュー固定つまみを回してしっかりと締め、確実に固定してください。

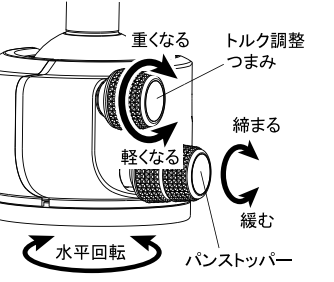


パノラマつまみを緩めると、クイックシューベースのみを水平回転させることができます。パノラマ撮影等に便利です。

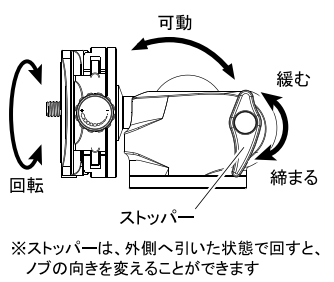
8.雲台の使い方(N743 MT)



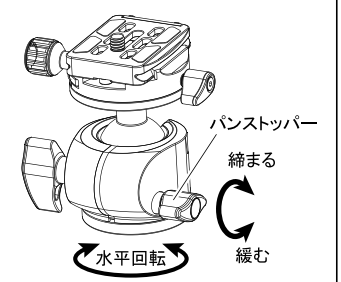
カメラをしっかり保持しながら、ストッパーを緩めると、カメラを自由に動かすことができます。アングルが決まったらストッパーを締めて固定し、シャッターをきります。



Carmagne N743 MTの雲台は、使用する機材に合わせてボールの作動力を調整することができます。トルク調整つまみを回し、カメラ装着時のボールの動きが適度になるよう合わせてください。またパンストッパーを回し緩めると、水平方向のみを独立して回転させることができます。

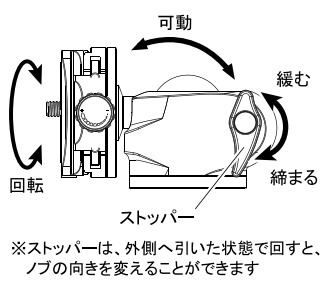


カメラをしっかり保持しながら、ストッパーを緩めると、カメラを自由に動かすことができます。アングルが決まったらストッパーを締めて固定し、シャッターをきります。

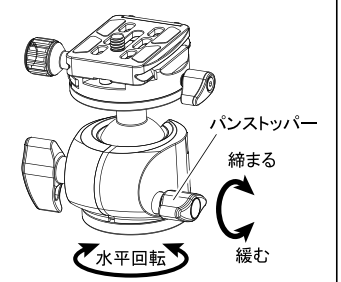


パンストッパーを回し緩めると、水平方向のみを独立して回転させることができます。

9.雲台の使い方(N643/N543 MT)



カメラをしっかり保持しながら、ストッパーを緩めると、カメラを自由に動かすことができます。アングルが決まったらストッパーを締めて固定し、シャッターをきります。



パンストッパーを回し緩めると、水平方向のみを独立して回転させることができます。

※保証規定につきましては、保証書裏面をご確認ください。

1573-00